

会員資質向上委員会事業計画

会員資質向上委員会 委員長 勝 大輔

現在の真岡青年会議所は、入会后メンバーがJCの基礎を身に付ける機会やフォローアップが確立されておらず、入会歴の短いメンバーが多くなり先輩たちから受け継いだこの組織について知る機会が少なくなっています。熱い思いを持った先輩方のJC運動によって本年度で55周年を迎える伝統ある組織が続いています。私たちはJCの基礎と伝統ある組織の特徴について学び、JC運動を継続して組織を受け伝える人材を育成する環境が必要です。

まずは、メンバーがJC運動を理解して継続していくために、JCプログラムを年間で6回開催し、基礎を身に付けます。そして、メンバーの熱い思いを鼓舞するために、特別会員の方々から当時の事業内容、JCとしての行動力、振る舞い、思いなど様々な体験や特別会員の方々が見てこられた尊敬する先輩の姿について学習し、先輩方の特徴とメンバーに影響を与える思いのこもった行動について共有します。さらに、JCの基礎を実践するために、入会歴の短いメンバーを中心とした模擬議案を作成することで、メンバーの交流を図り組織全体で事業に対する理解を深め、JC運動の意欲を向上させます。また、LOMの事業の特徴を知るために、過去の事業と栃木県内の各LOMの事業を学ぶことで、事業の比較から特徴が表れて55年続く伝統ある組織のJC運動の熱量を感じます。そして、JC運動を継続して伝統ある組織を受け伝える人材を育成することができたかを検証するために、JCの基礎と組織の特徴の習得を会員資質の向上の要素と考えてJCプログラムと例会のアンケート結果を分析することで、人材を育成する環境と次年度以降の研修事業の方向性を確立します。

JCの基礎と伝統ある組織の特徴を学び、メンバーがニーズと目的を捉えて地域に貢献できる事業を構築する能力を持ち、熱い思いを持ってJC運動に邁進して組織の特徴がより顕著になり、新たなメンバーや地域に伝統ある組織を広め伝えていきます。もっと熱くなれ。

<事業計画>

1. JC運動の基礎を理解した会員になれる LOM 環境の確立
2. 真岡青年会議所会員としての資質を向上出来る研修事業の実施
3. 事業で魅せる発信及び会員拡大
4. 全員で動く実働的な会員拡大
5. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力